

平成24年産米の初検査

社団法人 北海道米麦改良協会

24年産の水稲の生育は、融雪が遅く一部の地域(南空知)では春作業の影響を受けましたが、田植え後は好天に恵まれ全道的に生育進度はほぼ「平年並み」で推移しています。茎数は平年値を上回り、穂数・一穂粒数は少ないものの空知・上川中央部を中心に平年より若干多く総粒数が確保されている傾向にあり、不稔についても一部の地域を除き、平年より少なく稔実歩合も概ね良好であると見込まれる。

本年産の収穫作業は、8月30日芦別市(空知管内)の中内茂喜さんが昨年の2日遅れで稲刈りを開始、9月3日本年度の初検査が行われました。その全量が1等と格付けされました。今後上川管内(東川)では9月6日に初検査を予定しており、順次全道各地において米穀、豆類など、農産物の検査を実施してまいります。



芦別検査場(検査員 徳永裕一)

刈取日：8月30日(木)

検査月日：9月3日(月)

検査場所：JAたきかわ芦別検査場

銘柄：「ななつぼし」

等級：1等

検査数量：57袋／30kg

水分：15%